

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【公開番号】特開 2016-137889 (P2016-137889A)
 【公開日】平成 28 年 8 月 4 日 (2016.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-046
 【出願番号】特願 2016-2630 (P2016-2630)
 【国際特許分類】

B 6 0 H 1/34 (2006.01)

B 6 0 H 1/00 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 H 1/34 6 1 1 Z

B 6 0 H 1/34 6 5 1 Z

B 6 0 H 1/00 1 0 2 L

B 6 0 H 1/00 1 0 2 S

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 29 日 (2016.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両 (V H) のキャビン (V C) に空気流を供給する送風装置 (1 0) であって、
 空気流を生成する送風機 (1 1 2) と、

前記送風機により生成される空気流が内部に導入されるとともに、空気流を沿わせて流
 す外面 (1 2 7) を有するダクト (1 2) と、

前記ダクトに形成されるとともに、第 1 方向を長手方向とするスリット状をなし、前記
 ダクトの内部の空気流を前記ダクトの前記外面に沿わせて前記第 1 方向と交差する第 2 方
 向に向けて吹き出す吹出口 (1 2 0) と、

前記ダクトに形成されるとともに、前記吹出口よりも前記第 2 方向側に配置され、前記
 吹出口から吹き出される空気流の向きを前記第 1 方向及び前記第 2 方向に交差する第 3 方
 向に偏向可能なガイド面 (1 4 1 a, 1 4 2 a, 1 6 0 a, 1 4 1 1 a, 1 4 1 2 a, 1
 4 1 3 a) と、を備え、

前記吹出口は、前記ガイド面と対をなすように配置され、且つ分割された複数の分割吹
 出口 (1 2 1, 1 2 2, 1 2 1 a, 1 2 1 b, 1 2 2 a, 1 2 2 b, 1 2 1 1, 1 2 1 2
 , 1 2 1 3) からなり、

前記分割吹出口の長手方向における前記ガイド面の長さは、前記分割吹出口の長手方向
 の長さよりも長い

送風装置。

【請求項 2】

前記ガイド面は、回転可能に支持されるフラップ (1 4 1, 1 4 2, 1 4 1 1, 1 4 1
 2, 1 4 1 3) に形成されている

請求項 1 に記載の送風装置。

【請求項 3】

前記吹出口は、前記ダクトの第 1 壁面 (1 2 3) と、当該第 1 壁面に対して前記第 3 方
 向に配置される前記ダクトの第 2 壁面 (1 2 4) との間の隙間に形成され、

前記第 1 壁面及び前記第 2 壁面は、前記吹出口を跨ぐように配置されるリブ (1 5 1) により互いに連結され、

前記吹出口は、前記リブにより分割されている

請求項 1 又は 2 に記載の送風装置。

【請求項 4】

前記吹出口は、前記送風機に近い側から順に第 1 分割吹出口 (1 2 1) と第 2 分割吹出口 (1 2 2) とに分割され、

前記ガイド面は、

前記第 1 分割吹出口よりも前記第 2 方向側に配置され、前記第 1 分割吹出口から吹き出される空気流を前記キャビンの第 1 位置に供給するとともに、当該空気流の向きを偏向する第 1 ガイド面 (1 4 1 a) と、

前記第 2 分割吹出口よりも前記第 2 方向側に配置され、前記第 2 分割吹出口から吹き出される空気流を、前記キャビンにおいて前記第 1 位置よりも前記吹出口に近い第 2 位置に空気流を供給するとともに、当該空気流の向きを偏向する第 2 ガイド面 (1 4 2 a) と、
からなる

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の送風装置。

【請求項 5】

前記第 1 分割吹出口の長手方向は、前記第 2 分割吹出口の長手方向と交差する方向である

請求項 4 に記載の送風装置。

【請求項 6】

前記分割吹出口は、前記ガイド面の一つ当たりに対して複数配置されている

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の送風装置。

【請求項 7】

前記ガイド面は、前記第 2 方向において前記分割吹出口の全てと対をなすように複数配置されている

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の送風装置。

【請求項 8】

前記ガイド面は、前記第 2 方向において前記分割吹出口の一部と対をなすように単数又は複数配置されている

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の送風装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、車両 (V H) のキャビン (V C) に空気流を供給する送風装置 (1 0) は、送風機 (1 1 2) と、ダクト (1 2) と、吹出口 (1 2 0) と、ガイド面 (1 4 1 a , 1 4 2 a , 1 6 0 a , 1 4 1 1 a , 1 4 1 2 a , 1 4 1 3 a) とを備える。送風機は、空気流を生成する。ダクトは、送風機により生成される空気流が内部に導入されるとともに、空気流を沿わせて流す外面 (1 2 7) を有する。吹出口は、ダクトに形成されるとともに、第 1 方向を長手方向とするスリット状をなし、ダクトの内部の空気流をダクトの外面に沿わせて第 1 方向と交差する第 2 方向に向けて吹き出す。ガイド面は、ダクトに形成されるとともに、吹出口よりも第 2 方向側に配置され、吹出口から吹き出される空気流の向きを第 1 方向及び第 2 方向に交差する第 3 方向に偏向することが可能である。吹出口は、ガイド面と対をなすように配置され、且つ分割された複数の分割吹出口 (1 2 1 , 1 2 2 , 1 2 1 a , 1 2 1 b , 1 2 2 a , 1 2 2 b , 1 2 1 1 , 1 2 1 2 , 1 2 1 3) からなり、分割吹出口の長手方向におけるガイド面の長さは、分割吹出口の長手方向の長さよりも長い。